

服装の選択制について 【情報提供】

杜の里小学校校長
寺西 陽一

杜の里小学校では服装の選択制について2月に試行期間を、3月には検証の機会を設けました。以下に、アンケートの結果や意見等をお示しします。

1 はじめに

児童、保護者ともに服装の選択制についての賛成意見、反対意見の両方がありました。それぞれの意見を尊重していかなければならないものと認識しております。貴重なご意見を届けてくださったみなさまに感謝申し上げます。

意見の視点が標準服か私服かの二項対立に向かいがちでありました。学校では、服装においても選択肢が用意されている環境であることが子どもにとって必要かどうかという点で検討を整理しているところです。頂戴しましたご意見を参考にして円滑な導入に向けて適切に対応して参ります。

次は3月19日を目途に学校の考えをお示しする予定です。

2 保護者の意見(概要)

2月の学年懇談会での意見の他にグーグルフォームで29件のご意見を頂戴しました。賛成の立場のご意見、反対の立場のご意見と導入に対して心配なこと、質問等がありました。以下に概要としてまとめてお示しします。

- ・円滑に導入するためには、急ぐことなくもう少し時間をかけていくとよいという意見が複数ありました。
- ・保護者の意見を聞く場が不十分であったとの意見がありました。
- ・費用負担を心配する意見も複数ありました。私服の方が費用負担が大きいという意見と標準服の方が費用負担が大きいという両面の意見でした。また、標準服がサイズアウトになるともったいないという心配の意見がありました。
- ・選択できることがすばらしいこと、日常の小さなことの積み上げを経験させてほしいという意見がありました。
- ・県外では私服の学校が多いこと、子どもにとってはよいことであるという意見が複数ありました。
- ・主体性や多様性については一定のご理解をいただいたようでしたが、主体性については服装の選択との関係がわかりづらいという意見が複数ありました。
- ・暑さ、寒さの感じ方には寛容であってほしいという意見がありました。
- ・儀式的服装はどのようなになるのかという質問が複数ありました。儀式においては標準服を願う意見が多くありました。

3 第2回保護者と校長のスクールミーティング(概要)

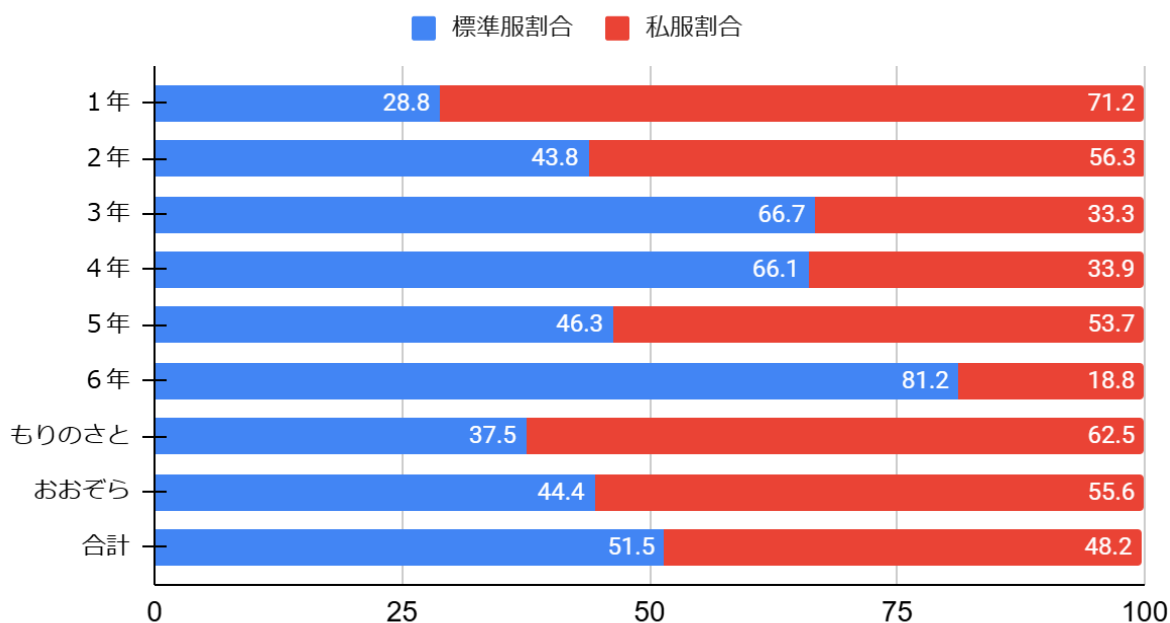
3月8日(土)11時 参加 5名

- ・決定のプロセスがわかりづらいという意見があるようだ。
- ・保護者としては、制服の方が楽なことの方が多い。家と学校で気持ちの切り替えができる役目がある。
- ・地域性が変化してきている。時代の変化を感じることもある。
- ・学校用の私服が新しく必要になる。標準服にもコストがかかる。
- ・選択制の導入の背景は多様性や環境面などの変化への対応と理解できるが、選択制のほうが学校は大変になるのではないか。
- ・制服リユース(制服バンク)の取組などを育友会に協力を求めている。
- ・悩みを抱える当事者(子どもや保護者)にとっては、緊急性の高いケースがある。規則があることで心身の安全や人権が守られていないことを伝えなければならない。少数の問題とは言え、この取組は必要である。しかし、多くの保護者へ伝えることはむずかしいことがあると感じている。
- ・教員は選択制に賛成である。慎重に、段階的に導入したらよいという意見もある。
- ・主体性は、未来を生きる子どもたちにどうしても身につけさせたい力である。自分事として行動できることが求められている。多様性は子どもの人権意識を高められる。
- ・小学校のさまざまな実態が聞けてよかった。主体性や多様性のことが理解できた。対面で直接対話することが大切。話ができてよかった。

4 実態調査

調査日 2月27日(木)～2月28日(金)

標準服割合 と 私服割合

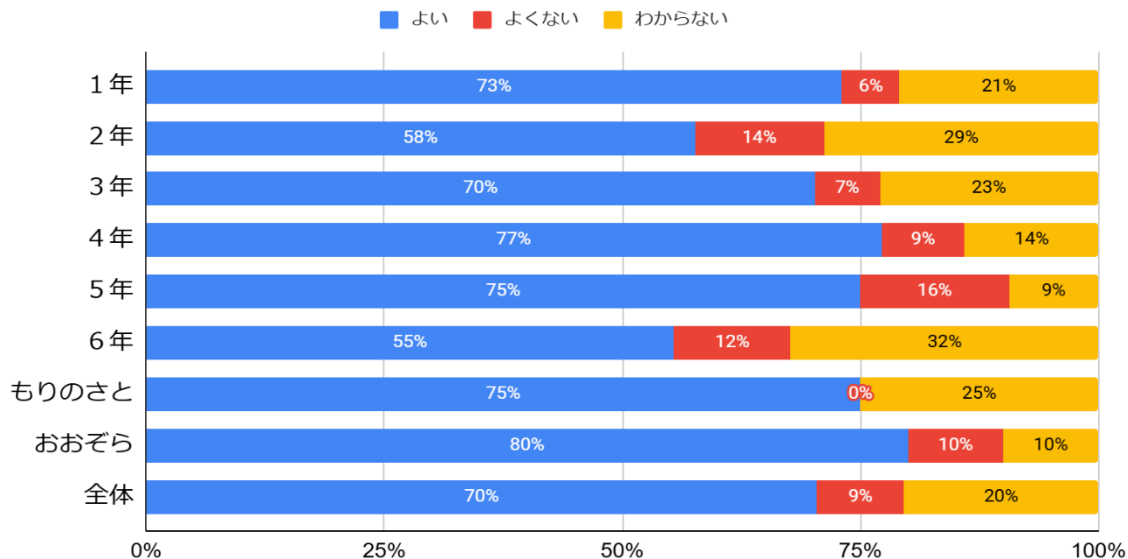


標準服を選んで登校した児童と私服を選んで登校した児童は概ね半数ずつであった。

5 児童アンケート

実施日 3月3日(月)～3月5日(水)

学校の服装を選ぶことができる



学校の服装を選ぶことができることはよいと回答した児童は7割、よくないが1割、わからないが2割であった。学年間差も見られた。

児童の意見より(一部抜粋、要約)

■選択制について

- ・私は服装を選択して自分で決めるのはいいことだと思います。理由は、多様性を認めて、自分らしく決めるのはいいことだと思ったからです。実際、服を選択してみて、いつもは制服と決まっているけれど自分で選ぶのはこれからの将来になるかもしれないから、制服と決まっていると自分で選ぶことができないから服装を選ぶと自分らしさが出てくるのでいいと思います。
- ・服装を選べることでその時々 of 用事によって服装を変えられることが良かったと思います。
- ・私は、選べることは良いと思いました。理由は、私服だと運動がしやすいし、制服だと礼儀が良いというイメージが湧くので、6年生を送る会などは、制服で他の日は私服というように選べると良いと思ったからです。
- ・自由に選択できたら、自分の体の体温を調整できるので良いと思います。
- ・体調に合わせて選べること今日は私服にしよう自分から考えられたことがよい。
- ・自己表現になると思う
- ・人それぞれメリット、デメリットがあるから自分で選ぶのが一番いい。
- ・儀式のときとか、ちゃんとした場面だと、統一感がないので、服装をいちいち変えてくるのは少し面倒くさいと思いました。ですが、自分で温度調節ができたり、女子の場合、スカートより私服で着てくるズボン等のほうが動きやすい、などと、色々あったと思うので、実際、自由で良かったと思いました。何より、一人ひとりの個人の意見が大切にされ、新しい意見が取り入れられたことが、とても良いことだと思いました。

■問題点

- ・六年生を送る会のときにみんなの服がそろってなくて自分の中ではなんかならしないと思った。
- ・ファッションを意識している人もいて派手すぎるのも良くない。
- ・もし全然制服を着なくなって、数回だけのために制服を買い替えることになってしまったら、お家の人の負担が大きくなってしまうのが、良くないと思いました。
- ・私は、友達と一緒に自由服を着て来ようと約束したとき、服を選ぶのに時間がかかり、結局標準服で登校しました。私以外にも、服を選ぶのに時間がかかるという人もいるようなので、もとの標準服のままでいいと思いました
- ・周りの人が、その人の服装をバカにしていじめに繋がると思った。
- ・制服の人もいれば自由服の人もいて、多様性を感じました。ですが、自由服の場合、何でも自由とは限らないけれども、例えば、学校全員が自由服の時、「Aさんの洋服かわいいねー」や「Bの服かっこいいねー」等学校には関係ない服のテーマが生まれて、勉強とはかなり離れてしまう。

6 おわりに

今回の件につきまして、決定までのプロセスが拙速であったことを反省しております。ご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

保護者アンケートの実施を検討しましたが、今のところ実施は考えておりません。この情報を共有することで様々な考え方を知っていただければ幸いに思います。

子どもたちや保護者からの貴重なご意見を知ることで、子どもにとって不利益にならないように検討をしなければならないことを再認識しました。校長として一番大切なことは子どもの安全と人権が守られ、ひとりひとりの子どもが安心して学ぶことができる環境をつくることだと考えます。

次回には整理しました学校の考えをお示しますので、もうしばらくの間お待ちくださいますようお願い申し上げます。